

すべてのJR関係労働者の 「死亡事故・重大労災ゼロ」 を完遂しよう！

重大労災防止の行動指針

① 仕事を「見る」「見られる」ことを気にかけてよう！

- 指揮者・責任者の皆さんは、作業の安全を見守ってください。
- 作業者の方は責任者が指示した作業内容に徹しましょう。
- あなたの仕事を「誰も知らない」「誰も見ていない」状況が一番危険です。
- 見張員や監督者は一番大切、その業務に専念してください。

② 急ぐ時、慌てる時こそ一息置こう！

- 「慌て作業」「急ぎ作業」時にこそ立ち止まらしましょう。
- 作業手順やルールを再確認しましょう。
- 「近道行為」には危険が潜んでいます。
- 救助する者が二次災害に遭わないために注意喚起しましょう。

③ 仕事を始める前にはよく考え、準備万端に！

- 作業に着手する時は、作業の安全を再徹底しましょう。
- 自ら危険を考え注意や段取りの再確認をしましょう。
- 事前準備を確実に、自信を持って仕事に取り掛かりましょう。

④ 危ないと思ったらすぐに行動！

- 危険を感じたら、ためらわず列車を止めてください。
- 危険や不安を感じたら、作業を中断してください。
- 立場や所属を超えて、危険や不安な事象を指摘しましょう。
- ヒヤリハットは積極的に報告しましょう。

⑤ とくに危険な四大労災を撲滅しよう！

(触車・感電・墜転落・交通事故)